



植竹小学校の教育

さいたま市立植竹小学校

校長 野津 美智代



めざす学校像

◆児童にとって
学びがいのある学校

◆保護者にとって
頼りがいのある学校

◆教職員にとって
働きがいのある学校

◆地域にとって
誇りのもてる学校

- ◆さいたま市教育ビジョン
◆さいたま市教育アクションプラン「PLAN THE NEXT 3つのGで日本一の教育都市へ」
- ①やり抜く力で真の学力を育成する (Grit)
 - ②国際社会で活躍できる人材を育成する (Global)
 - ③一人ひとりの成長を支え、生涯学び続ける力を育成する (Growth)

- ◆保護者や地域そして教職員の願い
- ・豊かな心
 - ・健康な体
 - ・確かな学力
 - ・地域に開かれた学校
 - ・信頼できる学校
 - ・地域の文化を大切に
する学校
 - ・安心、安全な学校

《学校教育目標》

- すすんでまなぶ子
- たすけあう子
- げんきな子

- ◆求める教師像「すべては子どもたちのために」
- ・子どもに確かな学力をつける教師 (確かな指導力)
 - ・子どもをよく見て、愛情をかける教師 (受容と共感)
 - ・子どものよさや個性を生かす教師 (信頼関係)
 - ・子どもに希望を語ることでできる教師 (夢と希望)

- ◆学校課題研究
R2～4年度研究指定「さいたまSTEAMS教育」
【研究テーマ】
かかわりながら考えて、わかる！できる！楽しい！体育授業
～探求的な学習を組み込んだ体育単元の実践を通して～

学力の向上

- 「さいたま市GIGAスクール構想の実現 ICTを基盤としたさいたま市『アクティブ・ラーニング』型授業の実践
- 教科担任制の実施 (高学年、中学年一部) 教員の専門性を生かし、授業の質を高め、児童に学ぶことの楽しさが実感できる環境づくり
- 小中一貫教育の推進
中学校教員による授業や小中合同研修会開催等の小・中の連携、「つぼみの日」

やさしい心の育成

- あいさつ運動の継続
- 基本的な生活習慣と学習規律、廊下歩行の定着
- 教科「道徳」の実践研究と人権教育の推進 (いじめのない学級づくりの推進)
- 特別支援教育と交流学習の推進
- 心と頭を耕す読書活動の充実
- 「毎日が教育相談日」の実践と相談体制、関係機関との連携の充実

健康な体づくり

- 外遊びや縄跳び、マラソンなど運動の奨励
- 握力とボール投げの向上 (工夫と継続)
- 健康教育、「食育」の充実、給食指導とアレルギー対応、
- 清掃指導 (黙々清掃) の徹底
- 生命尊重と安全教育の推進並びにASUKAモデルの実践
- 早寝・早起き・朝ごはんの啓発

地域との連携強化

- ◆盆栽教育の推進と充実
- ◆防犯と交通安全ポスターやSSNの活動推進
- ◆学習支援や図書、美化、リーグ、盆栽、おやじの会等のポスターとの連携
- ◆土曜・放課後チャレンジの充実
- ◆学校情報の積極的な発信

未来を拓く学校づくり推進運動 教職員の合言葉 「子どもたちの夢がふくらむ一言を」